



令和2年5月1日 二条保育園発行

風薫る5月…鯉のぼりは空高く泳ぎ、とても気持ちよさそうです。新緑の鮮やかさはこの時期特有の自然の恵みですね。千本丸太町交差点のハナミズキは花盛りで、目に映る景色は毎年と変わらないのに…そこに子どもの姿はなく、散歩をして「ほら、ここにこんなあるよ」「ミテミテ！」とかわいい声を聞くこともなく、この仕事を選び、続けてきた中で、こんなに寂しいものはないと感じながら日々通勤しています。また喜怒哀楽あふれる日常が戻ってくるように、できるだけ早く戻ってくるように今は我慢の時です。

自粛に入られて長らくのご家庭には、様々なご苦労があたりだろうと、またどうしてもどうしても出勤しないといけないご家庭には、また違ったご苦労があたりだろうとお察しします。

それぞれのおかれた場所で相手を想いながら、しっかりと役割を果たすことが日常を取り戻すことだと感じます。ご家庭での子どもたちにも登園の子どもたちにも、どんなに幼くてもそれは心に響き、今後の生き方に大きく影響することでしょう。

また元気に会える日を楽しみに、毎日を過ごしましょう！



新型コロナウイルス感染状況により未定です

日常が戻ったら、みんなが戻ったら楽しいことをい〜〜〜っぱいしよう！



登園自粛へのご協力 ありがとうございます

※日々20名ほどの園児の登園で、職員も順番に在宅勤務の日を設けることができています。電車・バス通勤の者もあり、感染リスクを少しでも減らすことができています。

※ホームページ(二条保育園と入力)を見てみてください。職員のコラム？(と言いますか)あそびの提案など載せています。

自粛の足しにしていただけたらうれしいです。

みんなのことを思いながら書いています。



進級したて1歳児ことり組、ある屋下がり…よちよち歩きで移動中。お友だちと、部屋から共同の間へ行くところで「ジョッ！」と言いながら、階段下の2段ほどの段差を上がって行くAちゃん。

その姿は勇ましく、“そうか〜手を使わずに上がってみようとしているんだな”「Aちゃん、上手に上がれるようになったね〜」と声をかけると『そうでしょ、スゴイでしょ』と言わんばかりのドヤ顔。

…それにしても「ジョッ！」て何？その掛け声って。段を上がりきった後姿に言ってみた、「Aちゃん、ジャ〜ンプ！」すると…軸足を左に取るように体を傾け、右ひざをできる限り高くあげ、先ほどと同じポーズを見せてくれたのです。「おお〜！いいジャンプだ」私たちの声を背中で聞きながら、彼女は去って行きました。「ジョッ！」はやっぱり“ジャンプ！”だったんだ…跳ねる印象ではないにしても、彼女の中では確実に跳ねている(笑)

「なかなかやるね〜」と近くにいた数名の職員と笑い合いながら感心しました。

“できるワタシ”がうれしいAちゃん、いっちょこまえです。

